

表 4-5 保険薬局における医療安全コストの対営業収入比；コスト要因別

	平均値		
	人件費	非人件費	合計
会合・薬局内研修等	0.04%	0.00%	0.07%
薬局外研修	0.09%	0.03%	0.12%
ヒヤリ・ハット事例収集	0.01%	—	0.01%
再発防止検討会	0.03%	—	0.03%
医薬品の照会対応等	0.90%	—	0.90%
感染性廃棄物処理	—	0.20%	0.20%
機器等の保守・点検	0.00%	0.11%	0.11%
機器・設備の設置・運用	—	1.18%	1.18%
合計	1.07%	1.51%	2.61%
(参考)患者相談対応	1.31%	—	1.31%
(参考)患者相談対応を含む合計	2.38%	1.51%	3.92%

## 4.2 一定規模施設における医療安全コストのシミュレーション

「2 アンケート調査の結果」でみた医療安全コストの平均値、さらに病院については「3 賠償責任保険料調査の結果」でみた損害賠償責任保険料から、5種類の施設における年間の医療安全コストをシミュレーションした。

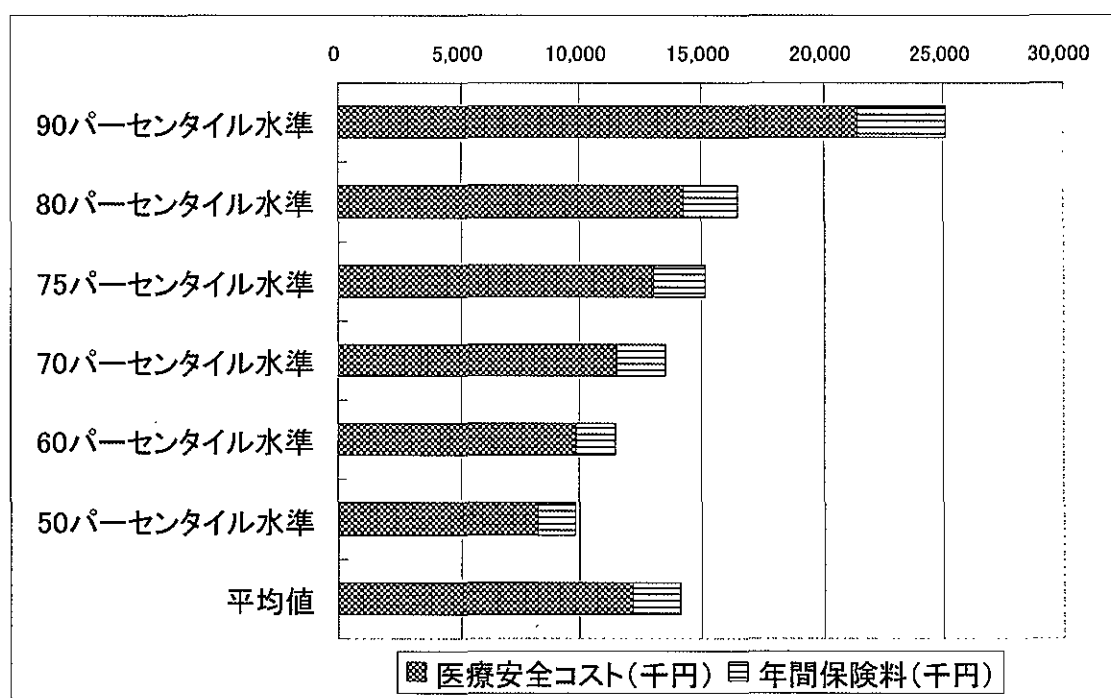
施設種類毎に、それぞれ病床数や患者数などについて一定の規模を想定した上で、今回のアンケート調査の回答施設のうち医療安全にかけているコストの多い上位10%に入る水準（90パーセンタイル水準）の年間コストはいくらになるか、同様に上位20%、25%、30%、40%、50%に入る水準（それぞれ80、75、70、60、50パーセンタイル水準）の年間コストはいくらになるかを示している。

### 4.2.1 病院

病院のコストシミュレーションは、病床数を100床、年間の入院患者延べ人日数を30,000人日と想定して行った。その結果は表4-6の通りである。上位25%に入る水準（75パーセンタイル水準）の想定年間コスト（賠償責任保険料を含む）は15,149千円で、中央値（50パーセンタイル水準）9,785千円からすると5,363千円（54.8%）のプラスとなる。

表 4-6 病院の年間医療安全コストのシミュレーション結果  
(病床数 100 床、年間の入院患者延べ人日数 30,000 人日想定)

水準	医療安全コスト (千円)	賠償責任保険料 (千円)	合計 (千円)
90 パーセンタイル水準	21,380	3,749	25,130
80 パーセンタイル水準	14,319	2,149	16,469
75 パーセンタイル水準	13,042	2,107	15,149
70 パーセンタイル水準	11,527	2,001	13,528
60 パーセンタイル水準	9,862	1,615	11,477
50 パーセンタイル水準	8,220	1,566	9,785
平均値	12,188	1,984	14,172

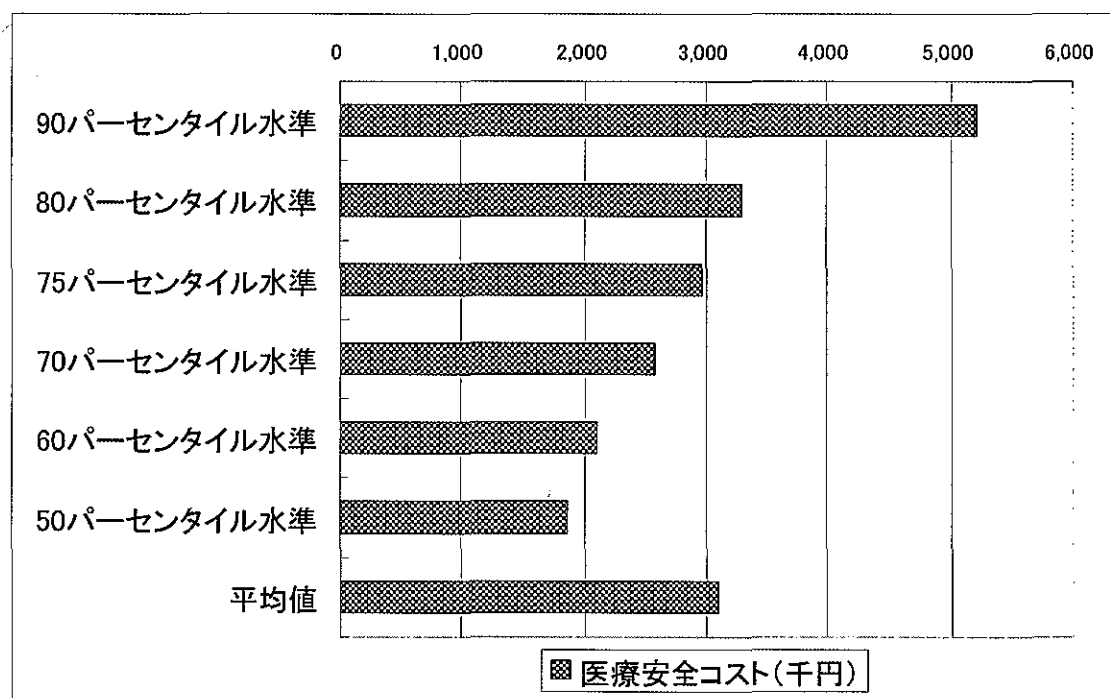


#### 4.2.2 一般診療所・有床

有床診療所のコストシミュレーションは、年間の入院患者延べ数 1,000 人、外来患者延べ数（初診を含む）10,000 人を想定して行った。その結果は表 4-7 の通りである。上位 25%に入る水準（75 パーセンタイル水準）の想定年間コストは 2,958 千円で、中央値（50 パーセンタイル水準）1,859 千円からすると 1,099 千円（59.1%）のプラスとなる。

表 4-7 有床診療所の年間医療安全コストのシミュレーション結果  
(年間の入院患者延べ数 1,000 人、外来患者延べ数 10,000 人想定)

水準	医療安全コスト(千円)
90 パーセンタイル水準	5,203
80 パーセンタイル水準	3,294
75 パーセンタイル水準	2,958
70 パーセンタイル水準	2,565
60 パーセンタイル水準	2,094
50 パーセンタイル水準	1,859
平均値	3,094

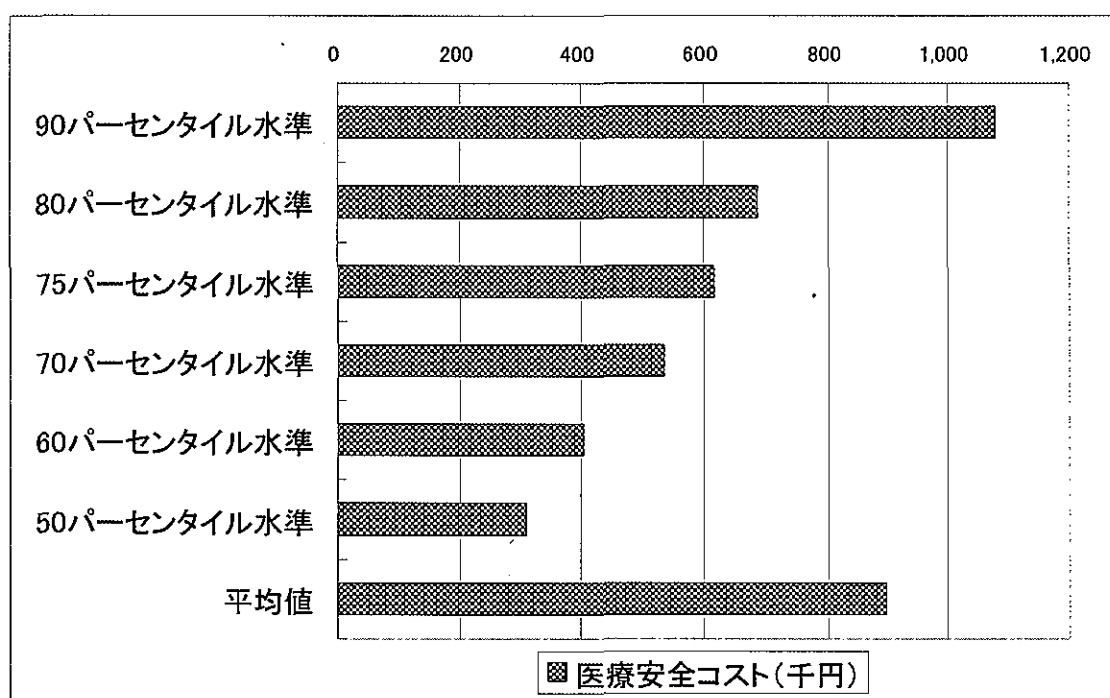


#### 4.2.3 一般診療所・無床

無床診療所のコストシミュレーションは、年間の外来患者延べ数（初診を含む）10,000 人を想定して行った。その結果は表 4-8 の通りである。上位 25%に入る水準（75 パーセンタイル水準）の想定年間コストは 616 千円で、中央値（50 パーセンタイル水準）310 千円からすると 306 千円（98.6%）のプラスとなる。

表 4-8 無床診療所の年間医療安全コストのシミュレーション結果  
(年間の外来患者延べ数 10,000 人想定)

水準	医療安全コスト(千円)
90 パーセンタイル水準	1,080
80 パーセンタイル水準	686
75 パーセンタイル水準	616
70 パーセンタイル水準	535
60 パーセンタイル水準	404
50 パーセンタイル水準	310
平均値	896

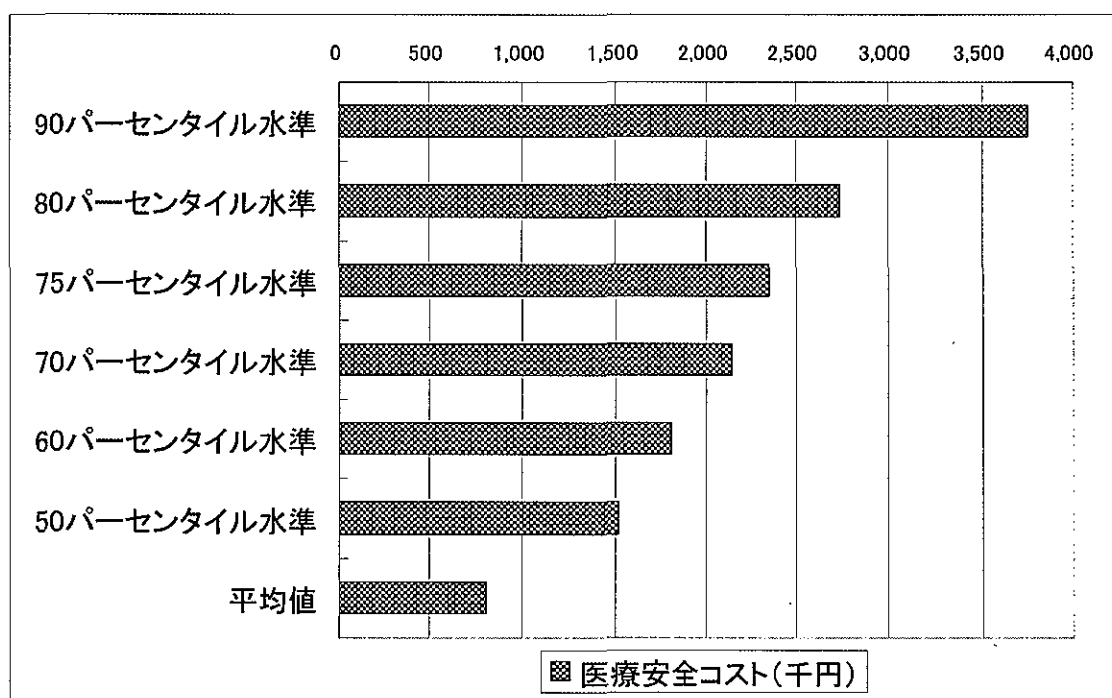


#### 4.2.4 歯科診療所

歯科診療所のコストシミュレーションは、年間の外来患者延べ数（初診を含む）3,000 人を想定して行った。その結果は表 4-9 の通りである。上位 25%に入る水準（75 パーセンタイル水準）の想定年間コストは2,348 千円で、中央値(50パーセンタイル水準)1,511 千円からすると 837 千円(55.4%)のプラスとなる。

表 4-9 歯科診療所の年間医療安全コストのシミュレーション結果  
(年間の外来患者延べ数 3,000 人想定)

水準	医療安全コスト(千円)
90 パーセンタイル水準	3,747
80 パーセンタイル水準	2,743
75 パーセンタイル水準	2,348
70 パーセンタイル水準	2,139
60 パーセンタイル水準	1,795
50 パーセンタイル水準	1,511
平均値	804

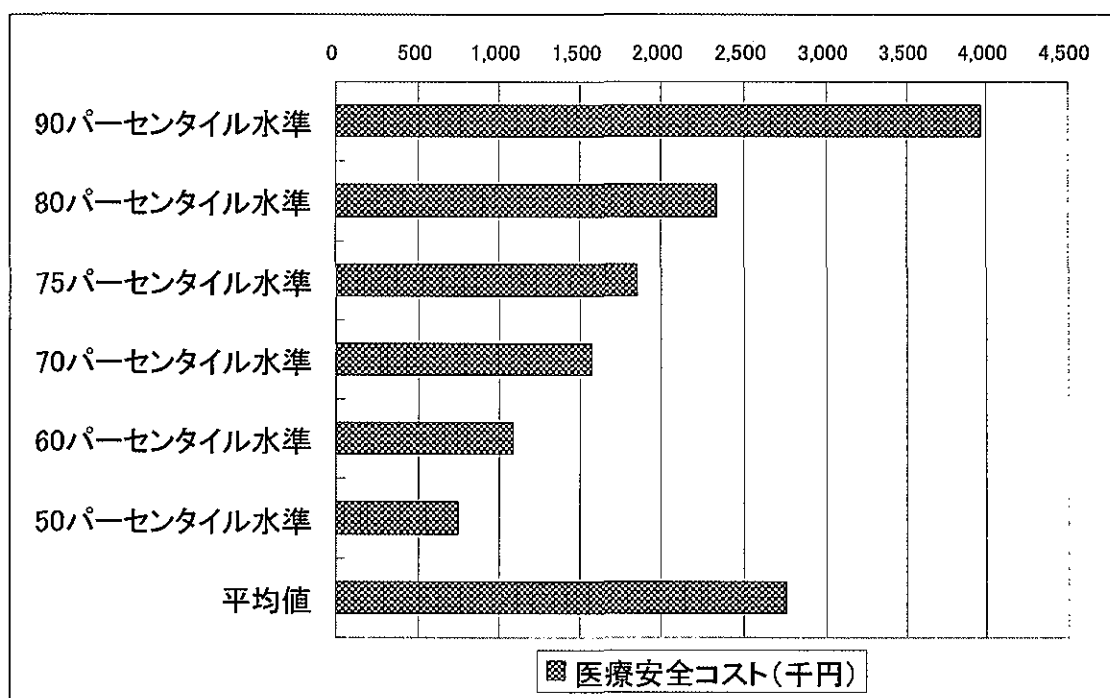


#### 4.2.5 保険薬局

保険薬局のコストシミュレーションは、年間の処方せん枚数 15,000 枚を想定して行った。その結果は表 4-10 の通りである。上位 25%に入る水準(75 パーセンタイル水準)の想定年間コストは 1,848 千円で、中央値(50 パーセンタイル水準) 743 千円からすると 1,105 千円(148.8%)のプラスとなる。

表 4-10 保険薬局の年間医療安全コストのシミュレーション結果  
(年間の処方せん枚数 15,000 枚想定)

水準	医療安全コスト(千円)
90 パーセンタイル水準	3,966
80 パーセンタイル水準	2,336
75 パーセンタイル水準	1,848
70 パーセンタイル水準	1,571
60 パーセンタイル水準	1,085
50 パーセンタイル水準	743
平均値	2,746



### 4.3 医療安全の標準的内容の達成に必要なコストのシミュレーション

施設種類毎に、「医療安全取り組みの標準的内容」を設定、それを満たす施設群が当該取り組みにかけているコストについて一定の水準を定め、この水準を下回る医療安全コストの施設がすべて同水準までコストを追加するのに必要な総額をシミュレーションした。具体的には、次の (1) → (4) の作業を行った。

(1) 下記の「人的な医療安全取り組み」について、取り組み毎に、平成19年3月30日付の厚生労働省医政局長通知「良質な医療を提供する体制の確立を図るための医療法等の一部を改正する法律の一部施行について」および平成19年3月26日付の厚生労働省医薬食品局長通知「薬事法施行規則の一部を改正する省令の施行について」における医療の安全に関する事項を参考に、**「人的な医療安全取り組みの標準的内容」**を設定した（具体的な「標準的内容」は**4.3.1**以下で後述）。なお、「医薬品の照会対応等」や、物品・機器による取り組みについては、アンケート調査の設問の関係などから、標準的内容を設定することが困難なため、本シミュレーションの対象から外した。「人的な医療安全取り組み」のコストが医療安全コスト全体に占める割合は、平均値ベースで8.5%（保険薬局の場合）～40.6%（有床診療所の場合）にとどまる点に、留意する必要がある。

- 委員会・会合（病院、有床診療所）
- 院内研修（病院、有床診療所）
- 院外研修（病院、有床診療所）
- 会合・院内／薬局内研修等および院外／薬局外研修（無床診療所、歯科診療所、保険薬局）
- ヒヤリ・ハット事例収集および再発防止検討会（全施設種類）
- 感染サーベイランスないし感染起因菌調査（病院、有床診療所、無床診療所、歯科診療所）
- 内部評価活動（病院、有床診療所）

(2) (1) で挙げた取り組み毎に、アンケート調査の該当設問に有効回答した施設のうち「標準的内容」を満たす施設を抽出、その施設群が当該取り組みにかけているコストの低位の水準として当該コストの25パーセンタイル値を採り、それを「人的な医療安全取り組みの標準的内容に係る当該取り組みの25パーセンタイル水準コスト」とした。そして、取り組み毎の25パーセンタイル水準コストを全取り組みについて合計して、「人的な医療安全取り組みの標準的内容に係る1施設当たりの25パーセンタイル水準コスト」を算出・設定した。25パーセンタイル水準コストは、単位当たり（入院患者1人1日当たり、外来患者1人1回当たり、もしくは処方せん1枚当たり）で算出・設定した。

(3) アンケート調査の有効回答施設のうち、人的な医療安全取り組みのコストが、(2)で設定した「人的な医療安全取り組みの標準的内容に係る1施設当たりの25パーセンタイル水準コスト」を下回る施設を抽出し、それらの施設がすべて25パーセンタイル水準コストまで医療安全コストを増やすのに必要な単位当たり追加コストを算出した（具体的な計算プロセスは**4.3.1**で後述）。

(4) (3) で求めた有効回答施設群における単位当たり追加コストに、全国・年間の当該単位数（例えば全国の無床診療所における年間外来患者延べ数）を乗じて、全国の施設が「人的な医療安全取り組みの標準的内容」を達するのに必要となる年間の追加コスト総額を推計した。

### 4.3.1 病院

#### (1) 人的な医療安全取り組みの標準的内容

病院における「人的な医療安全取り組みの標準的内容」は、以下の通りとした。

##### 【委員会・会合】

- 医療安全に関する委員会・会合および感染対策に関する委員会・会合がそれぞれ、
  - ① 医師／看護職員／薬剤師／医療技術員／事務職員すべての参加があり（1回あたり平均出席人数が0より大きい）、かつ
  - ② 18年度上半期に6回以上開催され、かつ
  - ③ 1回当たり平均時間が1時間以上である。

※ 上記の医政局長通知において、「医療に係る安全管理のための委員会」および「院内感染対策のための委員会」は、ともに「月1回程度」開催することとされている。

##### 【院内研修】

- 18年度上半期において、院内研修に、
  - ① 医師が合計4時間以上参加し、かつ
  - ② 看護職員が合計4時間以上参加し、かつ
  - ③ その他職員が合計8時間以上参加している。

※ 医政局長通知において、「医療に係る安全管理のための職員研修」「従業者に対する院内感染対策のための研修」はそれぞれ、「年2回程度」、「職種横断的な参加の下に」、院内研修として開催することとされている。1回の研修は2時間と想定し、安全管理と院内感染対策の2回分で4時間とした。③の条件は、医師、看護職員の他に2職種以上の参加を想定している。

##### 【院外研修】

- 18年度上半期において、院外研修に、
  - ① 医師が合計2時間以上参加し、かつ
  - ② 看護職員が合計2時間以上参加し、かつ
  - ③ その他職員が合計4時間以上参加している。

※ 医政局長通知に、院外研修に関するリクワイアメントはない。そこで、院内研修に準じた条件とし、ただし時間を各職種半分ずつとした。

##### 【ヒヤリ・ハット事例収集および再発防止検討会】

- 18年度上半期において、
  - ① ヒヤリ・ハット事例収集に取り組んでおり、かつ
  - ② 報告件数が1件以上あり、かつ
  - ③ 再発防止検討会を開催している。

※ 医政局長通知は、ヒヤリ・ハット事例収集の実施と再発防止検討会の開催を求めている。ただ、再発防止検討会は事例がなければ開かれなくても考えられ、しかし事例収集に積極的



に取り組んでいれば半年に1件も無いということはないと想定し、条件を設定した。

### 【感染サーベイランス】

- 18年度上半期において、感染サーベイランスに取り組んでいる。
  - ※ 医政局長通知における感染サーベイランスに関するリクワイアメントは明確でなく、また投入人員・時間に関する水準は設定困難なので、取り組みの有無だけを条件とした。

### 【内部評価活動】

- 18年度上半期において、
  - ① 安全管理に関する内部評価活動および感染対策に関する内部評価活動の両方に取り組んでおり、かつ
  - ② 活動内容が、院内査察、診療録の記載状況の確認、マニュアル遵守状況の確認のすべてに及んでいる。
  - ※ 医政局長通知に内部評価活動に関するリクワイアメントはないが、最大限広範な分野で内部評価活動に取り組んでいることを条件とした。

## (2) 人的な医療安全取り組みの標準的内容に係る25パーセントイル水準コスト

以上の「人的な医療安全取り組みの標準的内容」に基づき、アンケート調査の結果から導かれた取り組み毎および1施設当たりの「人的な医療安全取り組みの標準的内容に係る25パーセントイル水準コスト」（入院患者1人1日当たり）は、下記の通りである。ちなみに、下記の「人的な医療安全取り組み」が病院の医療安全コスト全体に占める割合は、2.1の表2-3で示した平均値ベースで29.9%である。

委員会・会合（標準的内容を満たす施設の割合：22.3%）	31.57円
院内研修（43.3%）	13.92円
院外研修（30.7%）	15.22円
ヒヤリ・ハット事例収集および再発防止検討会（96.7%）	10.51円
感染サーベイランス（76.3%）	3.17円
内部評価活動（12.4%）	4.38円
1施設当たりの25パーセントイル水準コスト（入院患者1人1日当たり）	78.77円

## (3) アンケート調査有効回答施設群における追加コスト

アンケート調査で有効回答のあった274病院のうち、人的な医療安全取り組みのコストが、上で求めた1施設当たりの25パーセントイル水準コスト78.77円（入院患者1人1日当たり）を下回る場所は、108病院（39.4%）あった。これら108病院すべてが25パーセントイル水準コストまでコストを増やすのに必要な追加コストは入院患者1人1日当たり31.89円、274病院全体でみると入